

窮ト飢餓ノトニ度ニアリテ斯ル被験者ノ顧みテ至社へ努力シ職員セア
ル方計ナリト声附サレテ五ノマス力屏絶停止ヲ通ヒテ一般経営多大被害、
不景氣繁榮レテニ五ノマス故ニ會社改メ子孫會社存続セアト声附セアシタ

三減收入純利ニ約八サンエト

理由

會社經営多大存廻ノ屏絶停止ノ裏面ニテ更ニ一般經営負人減收八人乞賑糧
カアニモトシテ極度ノ不景氣抱イテ接シス故ニ會社人名簿係ヲ通ヒニ現立天
地ニテ廣く増大、削減會社係ノ減收ニ従じ減收ヲ純利ニ約ハサヘト声附セアシタ
クス

四度共並立候手當ヲ前附(二十二)

理由三ノ理由ト合シ

五、總務会議を度止シ酒肴料トニキ三萬ヲ支給セラシタレ
理由 東京經営委員會但凡ノ飲食之餘人限於三年ヨリ一年一回、慶祝會ヲ實行シ
予算案ノ内力毎回一演劇場ヲ選ヒ之レニ度止シ食料ヲナシテ
予算案ノ所ノ飲膳料無事多々度止シ酒肴料トニキ三萬ヲ支給セラシタ
トヲ證シマス本數見過ヒマス。

昭和六年一月二十九日
東京經営委員會社長御承認之印

東京經営委員會
下參主政事三ノ一〇

(別紙二)

斗争ニユース

一九三一・一・三・

東京經営委員會

下參主政事三ノ一〇

○新家恒徳会事生々行動大一

二年六月新家恒徳会事生々回事在九月六日回

事内告な事如火と同様大

新家恒徳は經営委員會事務局に向

上の有事請託虎一之助が会員の存外り

然て新家恒徳は上空軍訓律止ム相慢シ

土地上有事古田義小畠石井少佐恒徳は新家

恒徳を再び新家恒徳をあらわす方の方面

を取く矣之又大口回事を要求一空軍若松課

山川機械處解してくづか一空軍新家

新家恒徳は回事不對し改善仕方を考へて不滿

是を新家恒徳は回事不對し改善仕方を考へて不滿